

山口大学教育学部附属特別支援学校

令和5年度 特別支援教育授業づくり研修会

令和6年1月26日(金)実施

育成すべき資質・能力を支える「自立活動」を基軸としたカリキュラムモデルの開発

—自立活動の個別の指導計画の作成と活用をとおして— (2年次)

本研修会では、「育成すべき資質・能力を支える「自立活動」を基軸としたカリキュラムモデルの開発—自立活動の個別の指導計画の作成と活用をとおして」を主題とし、参加していただいた先生方とともに、集団で行う自立活動の授業づくりについて検討し、多くの御意見や気づきを得ることができました。また、午前の全体会では各学部の代表児童・生徒がチャレンジタイムの取組について発表しました。午後には柳沢亜希子准教授による「自立活動の基本理解や実態に応じた指導目標の設定の考え方」についての講義・演習が行われました。

チャレンジタイム取組発表



小学部 自立活動(集団) 「みんなであそぼう」



中学部 自立活動(集団) 「みんなでチャレンジ ～カラーブロック・マウンテン～」



高等部 高等部職業自立課程1・2年生、社会自立課程2年生:自立活動(集団) 「お互いの考えや思いを伝え合おう」



講義・演習



～アンケートより～

- ・意図的にコミュニケーションをとるきっかけになる場面設定が自然でした。コミュニケーションを取らずにはいられないような場面設定ができるよう取り組みたいと思いました。
- ・授業内において自分自身の評価だけでなく、他者からの評価を行っていたことがとても興味深かったです。
- ・貴校の実践としてのチャレンジタイムがとてもいい取り組みだと感じました。得意を伸ばすというテーマが前向きで、苦手なことをサポートするだけでなく子どもの得意を伸ばすということが、特別支援においてとても大切な考え方だと感じました。

小・中・高・特別支援学校の多校種に及ぶ先生方、他県からも多くの方にご参加いただき、貴重な御意見を
得ることができましたこと心よりお礼申し上げます。今後の研究や教育活動に生かして参りたいと思います。